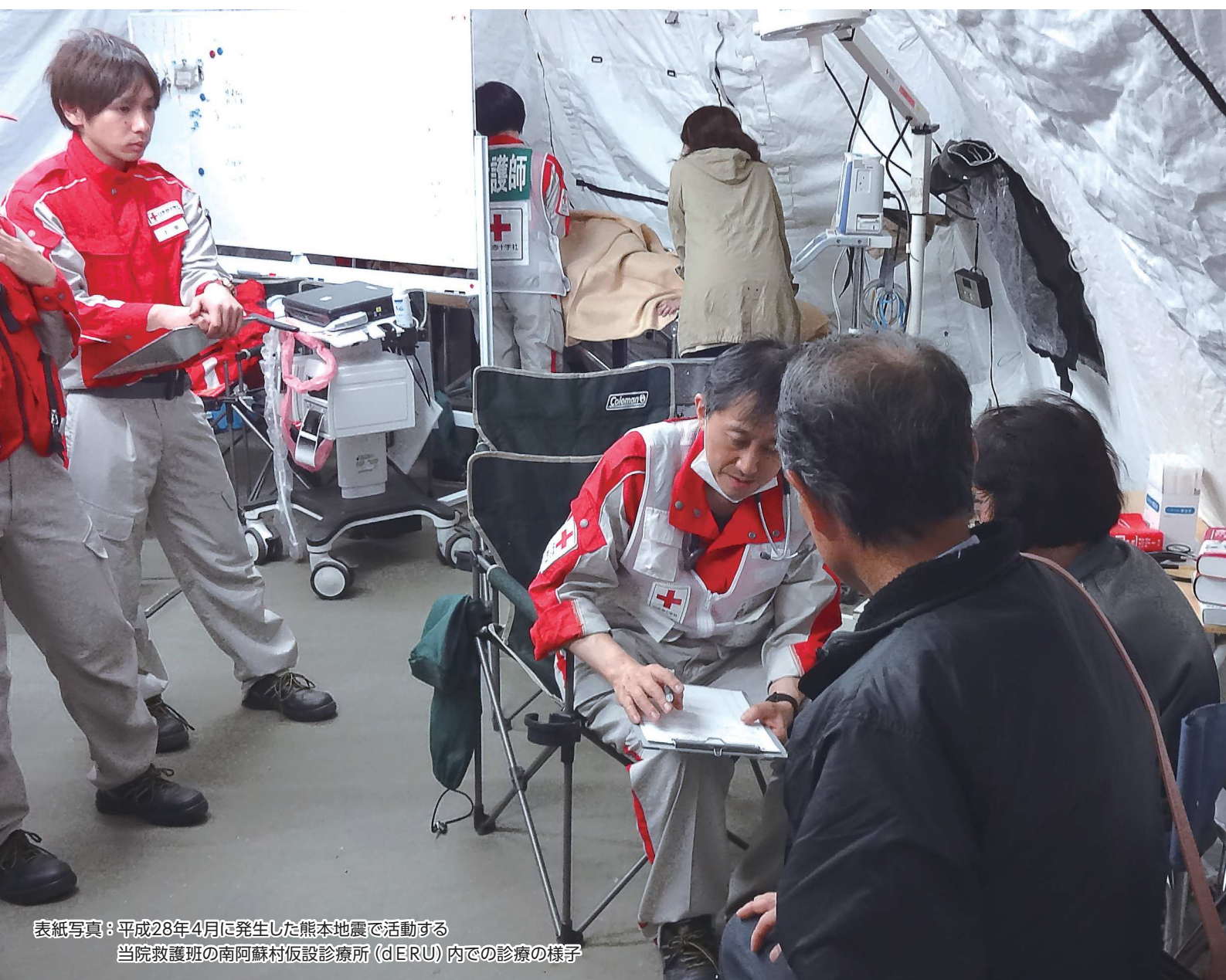


VOL.
98

日赤の
森 2016
October

診療科トピックス【眼科】(2~3面)

網膜硝子体疾患をはじめ 眼科全般の治療に力を注いでいます



表紙写真：平成28年4月に発生した熊本地震で活動する
当院救護班の南阿蘇村仮設診療所（dERU）内での診療の様子

www.takatsuki.jrc.or.jp

診療科 トピックス

～眼科～



網膜硝子体疾患をはじめ 眼科全般の 治療に力を注いでいます。

当科では白内障、網膜硝子体全般、緑内障、眼形成、涙道疾患など眼科の様々な疾患に対し診察を行っています。眼科全般の治療に対応していますが、特に「網膜硝子体疾患」に対する治療に力を入れています。

- ◎白内障手術に関しては日帰りから入院まで患者様のニーズに対応できるようにしています。
- ◎硝子体手術については最新の手術機器を導入し、広角観察システムを用いた小切開硝子体手術を行っています。
- ◎加齢黄斑変性や網膜静脈閉塞症などに対する抗VEGF薬硝子体注射を行っています。

【検査・手術案内】

●コンステレーション・ビジョンシステム (白内障・網膜硝子体手術装置)

コンステレーション・ビジョンシステムは従来の手術装置より高い安全性を追求した、最新鋭の網膜硝子体手術装置です。白内障・網膜硝子体手術装置として最新の極小切開手術にも対応可能で、あらゆる白内障・硝子体疾患に対し幅広い術式ときめ細かい手技に対応することが出来ます。

また白内障・硝子体の同時手術も可能な装置で、これまでの手術

機械よりもさらに進

化した高性能、多機能を兼ね備えた最新の医療機械です。目に見えない程のわずかな傷口から手術ができる最新のシステムにより硝子体手術を行っているのも非常に侵襲が少なく患者様の術後の回復も格段に早くなっています。



大須賀医師

木村副部長

藤田医師

根元医師

●光干渉断層計 (OCT) 検査

OCTとは網膜の断層像を画像化する装置のことで眼底撮影だけではわかりにくい網膜の厚みや視神経の形状を解析します。多彩な解析プログラムにより網膜や黄斑部疾患の変化、緑内障においては視神経障害が始まっているにもかかわらず通常の視野検査では検出できない極早期の緑内障を早期に発見することが出来ます。



【レーザー治療】

●網膜光凝固術

網膜光凝固術は、糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症、中心性漿液性脈絡網膜症などの疾患に対応しています。レーザー装置を用い病的な網膜を凝固させることで病気の進行を抑えることが出来ます。

●ヤグレーザー

白内障の手術後に残した水晶体の袋が時間の経過とともに濁ってくることで再び白内障と同様に視力の低下を起すことがあります(後発白内障)。この場合の治療法としてヤグレーザーがあり、濁った水晶体の袋にレーザーを照射して濁りを飛ばすことで手術直後に近い見え方に戻すことが出来ます。

【専門外来のご案内】

●黄斑専門外来

黄斑外来は、黄斑(網膜の中でも視力を出す中心部)の疾患を中心に治療を行っている専門外来です。光干渉断層計 (OCT) や造影検査 (FA・IA) を利用して診断や治療方針を決定しています。代表的な黄斑疾患としては、加齢黄斑変性・中心性漿液性脈絡網膜症・近視性血管新生黄斑症などが挙げられます。

●緑内障専門外来

我が国における社会的な失明の1番の原因である緑内障について、専門の医師による診断治療を行っています。

●ロービジョン外来

視力の低下により日常生活に不自由を感じている患者様に対してロービジョンケアとして遮光眼鏡の選択、拡大鏡(ルーペ)の選択、支援機関への紹介やニーズに対する情報提供を行っています。

<平成27年度活動実績>

手術数1,193件(主な内訳:白内障769件、網膜硝子体87件、レーザー204件、他133件)

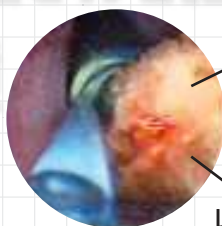
【日本眼科学会専門医】

眼科専門医とは、眼科すべての専門分野でその知識と技量が一定のレベルに達していることを日本眼科学会が認定した眼科医です。

眼科のすべての疾患に対応でき、必要に応じて他の診療科との連携や適切な施設への紹介など、的確な対応を行える眼科医です。

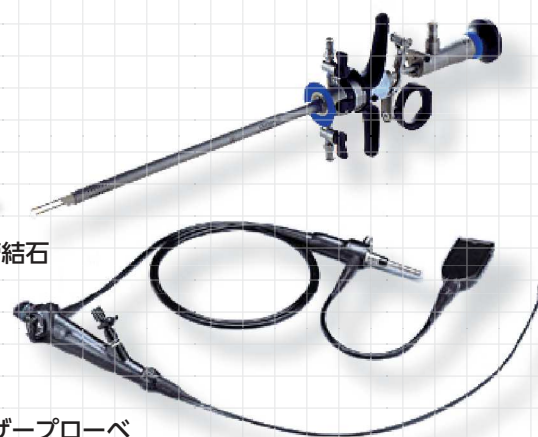
泌尿器科手術といえば、 やっぱり内視鏡

泌尿器科部長 武縄 淳



尿管結石

レーザープローブ



泌尿器科が対象とするのは、腎臓、尿管、膀胱といった尿に関係する臓器と前立腺、精巣、陰茎といった男性性器ならびに副腎です。「膀胱炎」「頻尿」「排尿困難」などの薬物治療も行いますが、泌尿器科は外科系診療科に位置づけられており「前立腺肥大症」「結石」や「癌」などに対する手術治療が重要な仕事です。

医療における内視鏡の先駆けは19世紀半ばの膀胱鏡とされています。このため泌尿器科では内視鏡手術が早くから導入されました。40年前から「前立腺肥大症」「膀胱癌」の経尿道的内視鏡手術、30年前からは「腎・尿管結石」にも内視鏡（経尿道的や経皮的）手術が導入されています。20年前からは「副腎腫瘍」「腎・尿管癌」「前立腺癌」の摘出術も内視鏡（腹腔鏡）手術に替わってきました。

内視鏡手術 の メリットは

- 出血が少なく、回復が早い
- 詳細で正確な操作ができる
- 術後疼痛が軽い
- 腹筋を切断しないため
術後運動障害が少ない
- 美容の点
などがあります。

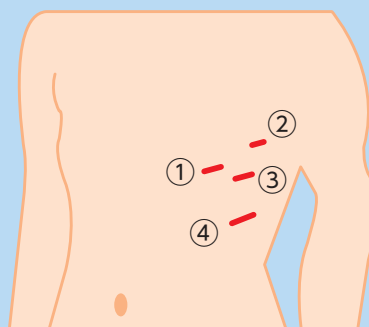
傷の大きさ（腹腔鏡手術）

- ① 0.5～1.2cm
- ② 0.5cm
- ③ 1.2cm
- ④ 3.5～5cm（摘出創）

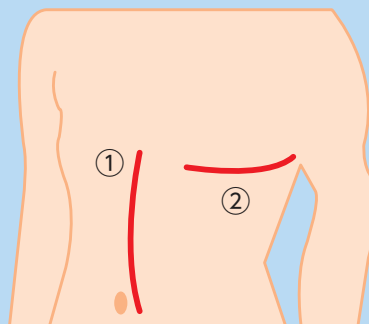


現在では当科でも内視鏡手術が主流（全手術8割強）となっていますが、今後もより一層正確で体に負担の少ない手術の普及に努めていきます。

腹腔鏡による手術（腎）



従来の開腹手術（腎） （①または②）



【当院における最近2年間の主要な泌尿器科疾患での内視鏡手術の割合】

副腎腫瘍 100%、腎・尿管癌 95%、膀胱癌 96%、前立腺癌 42%、腎・尿管結石 100%、膀胱結石 100%、前立腺肥大症 100%



放射線治療室スタッフ一同

安全・安心な治療を
サポートする専門家

◎ 認定看護師とは？

認定看護師とは、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識で水準の高い看護を実践する看護師のこと。認定看護師教育機関で6カ月の過程を終了し、日本看護協会の認定看護師認定試験に合格した看護師です。



角田認定看護師

◎ がん放射線療法看護認定看護師の役割は？

放射線治療の原理を理解し、治療効果を最大限に得て、副作用を最低限に抑えられることを目指し、放射線治療の過程で生じる患者様とご家族のさまざまな問題の解決を支援します。また、多職種で連携して安全に治療が行えるように調整を行います。

現在全国に224名、大阪府内に18名のがん放射線療法看護認定看護師がいます。

◎ 病院での活動内容は？

放射線療法は単独や抗がん剤、手術と併用しながら、がんの根治を目指します。また、がんによる痛みなどの症状緩和にも用いられています。現在私は、主に放射線治療室で勤務し、患者様とご家族様に安心して治療を受けていただけるように、副作用の起こる時期や症状、対処方法をお伝えし、日常生活の工夫など患者さまと共に考えたり、提案したりしています。放射線治療に怖いイメージを持つ方も多く、ほとんどの方が初めての経験となりますので、わかりやすく説明し、医師に聞きにくいことなども気軽に聞いていただけるように心がけています。そして、主治医、放射線治療医、放射線治療技師、緩和サポートチーム、外来病棟看護師など多職種と連携しながら、副作用を最低限に抑え、治療効果を最大限に得られるよう、療養生活をサポートしています。

また、院内の看護職員を対象に放射線療法看護の研修を行い、より良い看護の提供を目指しています。

医療安全の取り組み 医療安全推進室 福谷 裕美

当院では、患者様に質の高い安全な医療を提供できるようヒヤリハット(※)体験の収集と共有を図り、各部署リスクマネジャーと共に事故防止に取り組んでおります。

安心で安全な医療を受けていただくためには、医療者だけではなく患者様の参加も不可欠となりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

※ヒヤリハットとは=事故には至らなかったものの、日常の現場でヒヤリまたはハッとしたことです。

医療安全研修会

全職員を対象に医療安全研修会を実施しています。
ここ数年、患者様間違いゼロをめざし、5つの患者様確認行動が習慣化できるよう取り組んでいます。
事例を用いたKYT(危険・予知・トレーニング)研修を行い、意識向上に努めています。



名前確認ヨシ!

《5つの患者様確認行動》

- ①患者様名が記載されている『もの』を手元に置く
- ②『もの』を指差し、患者様をフルネームで呼ぶ
- ③患者様に「お名前をお願いします」と声をかける
- ④『もの』を指差し、名前と照合する
- ⑤『もの』を患者様と両方で確認する



強化中

安全ラウンド

毎月2回程度、院内の部署訪問をしています。
医療安全推進室メンバーと各部署のリスクマネジャーと一緒に、療養環境に危険なところはないか、各マニュアルが周知できているかチェックシートを用いて確認しています。
時には厳しい視点で注意喚起することもあります。



患者様へのお願い(医療への参加)

- 診察・検査・注射・手術等の実施前に、ご自身の名前(フルネーム)をお伝えください。
- 説明内容に疑問や不明なことがあれば、お気軽に医療スタッフにお尋ねください。



地域医療連携機関として登録をいただいている高原先生をご紹介いたします。
今後も高原先生との連携を深め、地域住民の皆様の健康を支えていきたいと思ひます。

◎院長 高原 寛 先生からのメッセージ

20年以上の臨床経験と、ペインクリニック学会の専門医、日本麻酔科学会の指導医として後進の育成も行ってきた豊富な経験に基づいて、急性痛だけでなく各種慢性痛などのさまざまな痛みに対応します。主に服薬治療や、安全な超音波ガイド下神経ブロックを行なっています。痛みやしびれの原因には、生活習慣や内科的な疾患が関係していることも多く、内科の領域からもアプローチして皆さまの健康をサポートいたします。

痛みは「感覚」ですから、血液検査のように数値で表せないもので、その痛みの強さを客観的に評価するのは非常に困難ですが、患者様それぞれのつらい痛みに対してしっかりと向き合い、各種治療法をわかりやすく説明し、納得していただける治療をしてまいります。長年悩まれた慢性の痛みや、他の医院でも診てもらったけど改善しなかったという方も、諦めずに一度ご相談ください。

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	△
16:00 ~ 19:00	○	○	○	×	○	×

△印：第1・第3・第5土曜日のみ診療。

【休診日】 木曜午後、第1・第3・第5土曜午後、第2・第4土曜、日曜・祝日

20年以上の経験を基に、
痛みと向き合い患者様本位の治療を



玉田副院長

高原院長

登録医の
先生のご紹介

ももたろう 痛みのクリニック

院長 高原 寛先生

〒567-0810 大阪府茨木市

宮元町 1-10

TEL : 072-627-8369

登録医療機関のご紹介

おかざき内科クリニック

院長 岡崎 英明先生

〒569-0823 高槻市芝生町1丁目1-12 TEL : 072-679-3501

ホームドクターとして、
もっと近くで皆様の健康を支えたい。



岡崎院長

大中循環器科部長

◎院長 岡崎 英明 先生からのメッセージ

「金沢医科大学病院」循環器内科へ入局してから現在まで、循環器内科医として救急、病棟、外来診療に携わってきました。特に虚血性心疾患に対する心臓カテーテル検査や治療(経皮的冠動脈形成術・ステント留置術)を専門とし、急性心筋梗塞など緊急を要する患者さんであれば救命のために24時間、昼夜問わず病院へ行き、心臓カテーテル検査や治療を行うという日々を過ごしていました。

平成22年からは高槻の「みどりヶ丘病院」にて勤務、心臓だけでなく、一般内科医として高齢者の肺炎や呼吸不全、脳梗塞や脳出血後遺症などの患者さんの診療も行うようになりました。そのような患者さんの診療を続けていくうちに、病院よりも、もっと身近なホームドクターとして、皆様の健康を支えることができないだろうかと思うようになり、今回「おかざき内科クリニック」を開院するに至りました。

これまでの経験を活かし、病気を治すことはもちろん、病気にならないように予防すること、また、病気と安心してお付き合いが出来るよう、健康を見守る「ホームドクター」として地域の皆様へ貢献できればと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	○	○	○	×	○	○
16:00 ~ 19:00	○	○	○	×	○	×

【休診日】

木曜日・土曜日午後・日曜・祝日

平成28年 熊本地震医療救護活動報告

社会課長 濱田 健司



・南阿蘇村立南阿蘇中学校体育館前に
dERU (仮設診療所) を設置



・dERU (仮設診療所) での診療の様子



・個別ミーティングの様子



・dERU (仮設診療所) 内を感染対策のため清掃中

4月14日(木)以降に熊本県で発生した地震被害に対し、高槻赤十字病院は、4組の救護班(医師4名、看護師4名、助産師1名、薬剤師1名、主事6名(臨床工学士1名、放射線技師1名、事務職4名)の計16名)を現地に派遣し医療救護活動を行ないました。

当院は4月20日(水)から南阿蘇村立南阿蘇中学校体育館前に大阪チームが設置した仮設診療所において医療救護活動を行ないました。南阿蘇村地区は阿蘇大橋が崩落した影響などもあり長期にわたり医療が不足していた地区でした。日本赤十字社大阪府支部はホスピタルdERU(外来棟、レントゲン室、手術室等を備えた仮設診療所)を設置して診療を行ったほか、避難所への巡回診療も行いました。地震から1週間が経過すると避難所では感染症の発生が高まるため、23日(土)にはノロウイルスやインフルエンザなどの感染症の疑いがある方については専用のテントで診療を行ない、dERU(仮設診療所)内でも感染対策のため清掃を行ないました。洗面所の清掃や手洗いの喚起を行なうとともに、南阿蘇村立南阿蘇中学校の避難所に熊本赤十字病院が仮設の手洗い場を設置したことで衛生環境が改善しました。30日(土)には子供たちが遊べるテント(チャイルドフィールド)を設営して避難所の環境改善も行ないました。

また、当院の災害救護倉庫からは救援物資として毛布4,500枚、緊急セット(日用品やラジオ等)150セットを積んだトラックが被災地へと向いました。

今後も、日本赤十字社は災害時に必要とされる医療救護を迅速に行うため、訓練、物資の整備、人材育成など常に災害に対応できる体制を作り、災害時にはいち早く救護班などを派遣して医療救護活動を行なってまいります。



市民公開講座を開催しました 地域医療連携課長 山岡 紀代美

7月2日(土)、毎年開催しております市民公開講座を「新しいがん治療」をテーマとし高槻現代劇場において開催しました。

各診療科専門医師と専門看護師による食道がん・肝臓がん・肺がん・血液腫瘍の治療の他、緩和ケア及びがん相談支援についての講演と討論会を行い、当日は市民の方、地域の診療所の先生方など約80名の方が参加しました。

市民の方からは「がんとうまくお付き合いをしながら地域で生活していくのにはどうしたらよいか」「がんを早く発見するにはどうしたらいいか」などの質問が寄せられました。

当院では今後ともがん患者様やそのご家族の皆様の悩みに積極的に対応し、がん患者様とともにがん診療に携わっていただけるように日々の診療体制や診療技術の向上に努めていきます。

ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

専門家による質疑応答で、正しく理解して前向きに。

リウマチ教室を開催

社会課長 濱田 健司



平成28年6月26日(日)、地域の皆さまを対象に、リウマチに関する正しい知識と理解を広げ深めていただくことを目的として「西阿武野コミュニティセンター」において「市民公開講座リウマチ教室」を開催しました。

この「リウマチ教室」は、日頃から、リウマチで悩んでいる方やご家族の方、もしかしたら私もリウマチかな、と心配しておられた方など、大勢の市民の皆さまが参加されました。

講師は、当院のリウマチ専門医でもある小田整形外科部長とリウマチケア看護師の野口さんが勤め、それぞれの立場から専門的なことをわかりやすく話し、皆さん真剣に聞かれていました。

質問コーナーでは、事前に頂いていた内容や日頃から思われている心配事、最新の治療の事など時間が不足するほどの質問が寄せられ、参加者との質疑応答が活発に行われました。



搬送された被災者への医療処置の様子

災害への備え、 日頃から真剣に訓練



被災者へのトリアージを行う

平成28年度 高槻市地域防災総合訓練に参加しました

社会課長 濱田 健司

高槻赤十字病院には、災害に備えた常設救護班が5個班あります。医師、看護師長、看護師、主事等計6名で編成されており、業務の必要に応じて助産師、薬剤師、放射線技師、理学療法士、臨床工学士等も救護班に加わり、被災現場において医療救護活動を行います。

今回の高槻市地域防災総合訓練は8月27日(土)、淀川河川公園三島江地区で行われ、当院からは1個班に4名の人員を加え総勢10名で参加しました。今回の訓練は、大阪府北部を震源地とするM7.3の直下型地震が発生したという想定で参加者約700人を越える大規模な訓練となりました。当院の救護班は40名以上の負傷者を2次トリアージ(患者の重症度を再評価)し、素早く処置を行いました。4月には熊本地震が発生し実際の被災現場で医療活動を行ったこともあり、訓練には真剣に取り組みました。当院は、災害になれば必ず救護班を派遣します。その為本来の病院業務も行いながら日頃から訓練に積極的に参加しています。

家庭で役立つ薬の話

薬の正しい保管のしかた

薬剤師 後藤 仁美

市販薬、処方薬、様々な薬が家にあると思います。皆さんはどのように保管していますか？

薬は、保管方法が悪いと本来の効き目が得られなくなってしまうことがあります。今回は、薬の保管におけるポイントを紹介します。

- ①直射日光や高温、凍結を避けて保管する。薬は湿気や光、熱による影響を受けやすいので、保管には注意が必要です。冷所品もありますので、薬袋をよく見て保管してください。
- ②子供の手の届かないところに保管する。子供の誤飲事故のうち、医薬品・医薬部外品によるものが約15%と報告されています。誤飲を防ぐために、薬は子供の手の届かないところに置きましょう。
- ③古い薬は廃棄する。薬は時間が経つと分解したり、場合によっては成分が変化して本来の効果が得られないものもあります。そのため、有効期限を過ぎたものや見た目に異常があるものは使用せずに、廃棄しましょう。

薬を正しく保管し、その効果を最大限に引き出しましょう！

がん患者サロン開催のお知らせ

『がん患者サロン』は、がん患者さまやご家族が語り合い交流できる場です。
「誰かと話したいな…」「他の人はどうしているのかな…」という時、
一人で悩まないでお気軽に、ちょっと立ち寄ってみてください。

対 象 がん患者さま、ご家族（他院通院中の方も参加可）

開催日時 毎月 第3水曜日 13時～15時（出入り自由）

13:00～13:30 ミニ講座

13:30～15:00 フリー座談会

場 所 高槻赤十字病院2階 がん相談支援センター

申し込み
不要



お問合せ先

高槻赤十字病院 医療社会事業部 地域医療連携課 がん相談支援センター
平日9時～16時 TEL:072-696-0571 (代表)

おすすめ レシピ

- ・魚の揚げ物風
- ・季節野菜の汁物
- ・大根サラダ
- ・きのこの焼浸し
- ・果物
- ・ご飯(110g)



風が変わって海・山・野から季節の美味しい便りが届いています。
さあ、テーブルを秋のメニューでにぎやかに演出しましょう。
お魚も、きのこも、果物も、旬ならではの栄養たっぷりです。

材料(1人分)

<季節野菜の汁物>

白菜	50g
葱	5g
人参	10g
生椎茸	5g
白葱	20g
ブイヨン	1g
胡椒	適宜
中華だし	1g
水	150cc

美味しくて栄養たっぷりの秋の味覚が勢揃い

<魚の揚げ物風>

メルルーサ	80g
塩	0.5g
胡椒	0.2g
パン粉	12g
小麦粉	6g
卵	10g
油	5g
レモン	5g
セルフィーユ	0.5g

<きのこの焼浸し>

えのき茸	30g
舞茸	30g
えりんぎ	30g
生椎茸	10g
だし割ポン酢	5g

<果物>

柿	75g
紅葉	1枚

<大根サラダ>

サラダ菜	5g
大根	70g
ラディッシュ	5g
かつお節	1g
ノンオイル ドレッシング	10g



作り方 魚の揚げ物風(一人分)

- ① フライパンに油を入れて温め、パン粉を加えて、焦がさないようにキツネ色に炒める。
- ② 魚（メルルーサ）に塩、胡椒をする。
衣をつける（小麦粉→溶き卵→①のパン粉）
（※魚は身が薄い方が焼き上がりかパリパリします）
- ③ ②をオーブンで焼く（200℃ 6～10分
または190℃ 9分30秒）
- ④ レモンと香草（セルフィーユ）を添える。

エネルギー 487kcal 炭水化物 78.2g たんぱく質 26.3g
脂質 8.9g 塩分 2.4g 食物繊維 9.4g



平成28年度 秋期糖尿病教室のご案内

◆年間テーマ “四季使える糖尿病教室”

当院では、糖尿病学会認定の専門医、糖尿病療養指導士、管理栄養士等が中心となり、市民の皆様が日常生活の中で正しい知識をもって健康管理が行えるよう、お手伝いさせて頂いております。毎月開催される当院の糖尿病教室を是非お役立て下さい。

◎ 日 時 秋 期 11時～13時20分 (受付は10時30分から開始)

◎ 場 所 当院3階 第一会議室・講義室 ※ 講師、テーマは予告なく変更する場合があります

(注1) 参加者多数の場合は、未受講者の方を優先させていただきます。(定員20名)

(注2) 受講を取り消される場合は、必ず一週間前までにご連絡ください。

※ お車で来院し受講される方は、駐車券をお持ちになってご来場ください。

時間	11月8日(火)	12月13日(火)
11:00～11:20	糖尿病とくすり 薬剤師	患者体験談 意見交換会
11:20～11:40	糖尿病の検査について 臨床検査技師	糖尿病について 糖尿病療養指導士
11:40～12:00	食事療法 2 管理栄養士	食事療法 3 管理栄養士
12:00～12:45	糖尿病食試食会	
12:45～13:00	休 憩	
13:00～13:20	ミニ健康講座 糖尿病と運動 理学療法士	ミニ健康講座 糖尿病と足病変 皮膚科医師

主 催：高槻赤十字病院

受 講 料：お食事代実費800円(税込)を当日に頂きます。 釣り銭のないようにご準備ください。

※ 申込書にご記入のうえ、医療社会事業部社会課までご持参下さるか、お電話にてお申込ください。

〒569-1096 高槻市阿武野1丁目1番1号 072-696-0571 (内線481番)



当院のフェイスブックをご覧ください。Facebookは病院ホームページ及び
URL:<https://www.facebook.com/takatsuki.rc.hosp>から閲覧出来ます。

高槻赤十字病院の理念

私たちは人道・博愛の赤十字精神に基づき、高度で安全な医療を提供し、地域の人々が誇りにする病院となるよう努めます。

高槻赤十字病院の方針

1. 患者さまの人権と意思を尊重し、患者さま中心の医療をおこないます。
2. 一人ひとりの患者さまを全職員が支援する、チーム医療をおこないます。
3. 患者さまのホームドクターと緊密に連携し、地域で完結する医療をおこないます。
4. 常に向上心と研究心を持ち、最高最善の医療が実現できるように努めます。
5. 健全な病院経営と地域に貢献できる医療従事者の育成に努めます。
6. 災害救護活動をはじめとする赤十字に課せられた使命を果たします。



日本赤十字社 高槻赤十字病院
Japanese Red Cross Society

〒569-1096 大阪府高槻市阿武野1-1-1
TEL 072-696-0571 (代表)
URL:<http://www.takatsuki.jrc.or.jp>
mail:trc@takatsuki.jrc.or.jp
発行責任者 事務部長 神谷 尚孝



人間ドック・健診施設機能評価認定施設